

## 令和5年度「人間と社会」の取り組みについて

「人間と社会」とは、文部科学省に特別に認められた教科で進路学習・キャリア教育を中心に行う授業です。また、連携型中高一貫教育における連携高校である飯南高等学校の科目「産業社会と人間」に接続する教科として位置付けられ、中学1年生で15時間、2年生で15時間、3年生で35時間を「総合的な学習の時間」を削減して「人間と社会」に充てています。これによって、小中高の12年間におけるキャリア教育の連携・コミュニケーション力を培う教育の連携をめざしています。

今年度は、全校でのキャリア講演会を3回と勤労体験活動を開催しました。

### 全校 ◎第1回キャリア講演会 講師：奥山夢菜

6月10日、株式会社Dream3.0執行役員の奥山夢菜さんに来ていただき、「『共感』で選ぼう！将来を考えるヒント～起業・複業の例から～」をテーマに講演会を開催しました。笑いもあり楽しく人に出会うことの大事さを感じる講演会でした。

### ◎第2回キャリア講演会 講師：土性沙羅

7月16日、レスリング2016年リオデジャネイロオリンピック五輪金メダリストで松阪市職員の土性沙羅さんに来ていただき、夢を持ち、挑戦を続ける大切さを語っていただきました。五輪で金メダルを獲得するための練習は「きついし、嫌だった」それでも「仲間がいたから乗り越えられた」、「夢に向かって頑張ることに意味がある。周囲への感謝の気持ちも忘れないで」と呼びかけてくれました。

### ◎第3回キャリア講演会 講師：浅田政志

2月14日、写真家の浅田政志さんに来ていただき講演会を開催しました。写真集「浅田家」の写真とそのエピソードを交えながら分かりやすく話をしていただきました。そして、最後に好きなことを仕事にすると好きでないことがついてくる。好きでないことを好きになる努力が大切と言われました。

### ◎勤労体験活動

年2回の資源物回収を保護者の皆さんと地域の皆さんの協力で行いました。働くことの大変さ・仲間と協力することの大切さ・コミュニケーションの大切さなどを学びました。

地域の方々とふれあう機会となりました。

### ◎飯南高校チャレンジデー

飯南高校の紹介を詳しく聞く、部活動体験をする、系列の授業に参加するなど、高校生と触れ合いながら高校見学を体験しました。



## 1年生

### ◎飯南高校生徒交流会

飯南高校中高一貫教育の取り組みとして、1, 2年生が7月29日に「生徒交流会」を実施しました。交流会では、総合学科系列授業体験とクラブ体験を行いました。飯南高校生は、優しく一つひとつ丁寧に教えてくれました。中学生は、安心して活動できました。



## 2年生

### ◎飯南高校「地元企業との交流会」参加

飯南高校で開催された「高校生と地元企業との交流会」に参加しました。一人ひとりが興味のある5つの企業の方から丁寧に説明をいただき、地元の企業について知ることが出来ました。



### ◎「いいなんゼミ」発表会

飯南高等学校の3年生がテーマを決めて研究実践してきた成果を発表する「いいなんゼミ」を参観しました。連携高校の取り組みを知るとともに、プレゼンテーションのスライド作成の仕方や発表技術を学び、自分の進路の実現について考えることが出来ました。



## 3年生

### ◎進路説明会

地元の高等学校から来ていただき高校生活や入試方法などについて説明を聞く機会を持ち、進路選択について考えました。自分の進路選択のための情報収集の機会となりました。



## 1年を振り返っての学校関係者評価

保護者アンケートで「人間と社会」など特色ある教育活動を展開している質問に対して95.3%が評価をしていただいている。また、「学校行事に参加したときや子どもたちが地域の活動に来てもらって感じることは、子どもたちは本当に前向きに仲良く楽しそうにやっていると伝わってくる。何事にも一生懸命に取り組んでいる姿は、素晴らしく、自分自身に自信を持っていると感じる。」と評価していただいた。

## 1年を振り返ってのまとめ

1年生は「仕事には大変な部分もあるけど、やりがいもあることが分かった。」、2年生は「地元の企業について、たくさんの方が知れてよかった。いい経験になりました。」、3年生は「いろいろな人と助け合って交流していくこと、頼っていくことなど巻き込み力を大切にしたいと思いました。」などの感想があった。また、学校アンケートで94.3%の生徒が「人間と社会の時間は楽しい。」と答えている。今後も各学年の目標と内容を系統的に計画し「キャリアプランニング能力」を育てていく。さらに、発表でタブレットを使ってプレゼンテーションを行うことでコミュニケーション力、プレゼン力の向上につなげていく。